

～栄光の架け橋～(全十勝中体連秋季卓球大会&町内意見発表・英語暗唱大会)

楽しみながら、充実した大会へ!

10月22日(日)に全十勝中学校秋季卓球大会個人戦がよつ葉アリーナ十勝で開催されました。

本校より8名の選手が参加。それぞれ、自分の課題やテーマをもちながら、試合に臨んでいました。特に、印象的だったことは、試合を楽しみながら行っていたことです。皆、表情が良く、勝ち負けに関係なく素敵な表情をしていました。

結果は、小森さんが4回戦に進出。その他にも、3回戦に佐々木さんと村田さんが進出しました。惜しい試合も多くあり、次回が楽しみです



【激戦の末の勝利! 力ついています。】

幕別町意見発表・英語暗唱大会～表現の素晴らしさ

10月4日(水)に幕別町百年記念ホールにて、幕別町中学校意見発表大会・英語暗唱大会が開催されました。

意見発表は、校内予選で選出された 2年高橋ひまりさんと 1年 豊田 空 さんが出場し、堂々と二人とも発表をしました。

高橋さんは、演題「人とのかかわり」と題し、「偏見」といった視点から、自身の人とのかかわり方についての見方・考え方に気づいたことを見事な描写表現で聴衆を魅了しました。

また、豊田さんは、演題「笑顔を目指して」と題し、自身の食物アレルギーでの経験を踏まえ、家族との触れ合いや体験を通じて得た喜びから、夢に向かっていく現在の心境を表現しました。

ともに素晴らしい内容でした。豊田さんは優秀賞。高橋さんは優良賞を受賞し、自分の考えや思いを文章に表現し、推敲を繰り返しながら、整理していく過程を学びました。

同日に、英語暗唱大会も開催され、本校より、3年代表沼田旺助さんと 2年代表村田慎治さんが出場。

それぞれ、文化祭活動期間の限られた時間の中で、決められた範囲の文章を暗記し、発音や表現に留意しながら練習を何度も重ね、当日の発表につなげていました。村田さんは「Six Amazing Things about Penguins」を沼田さんは「Washoku or Japanese Cuisine」を披露しました。最後まで、しっかりと表現し、大変素晴らしかったです。それぞれ、優良賞を受賞しました。本当にお疲れ様でした。



11月行事予定

- 7日(火) 3年進路説明会
- 8日(水) 全学年学力テスト
定例職員会議
- 9日(木) 学校芸術鑑賞会
- 11日(土) 十勝こども大会(～12日)
- 13日(月) つながりLabo(社会福祉協議会)
- 15日(水) 生徒会常任委員会

21日(水) 校内研修⑧

26日(日) ニッタク杯(卓球部)

28日(火) 3年 保育所実習

30日(木) 校内推薦委員会

2年総合:深堀学習(事業所訪問)



しばざくら

【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」

- 自ら創造する生徒
- 思いやりのある生徒
- 健康で活力のある生徒
- 責任を果たす生徒



2年生 石井先生による
研究授業「社会」パフォーマンス課題！



～「平等」と「公平」～
誰もがチャレンジできる教育の実現を目指して

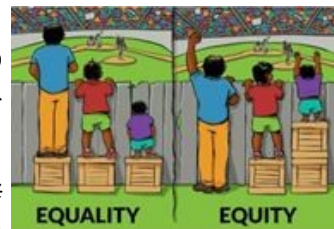
校長 白井将之

4年ぶりの全校合唱～文化祭にて

十勝山脈の山頂付近も薄らと雪化粧が見え、冬の到来を感じる季節となりました。日に日に寒さも増し、体調を崩しやすい時期となります。皆様方におかれましては、体調管理に留意され、季節性の感染症等の予防に努めていただければと思います。学校としても、手洗い・うがいの励行に努めて参りたいと思います。

さて、インクルーシブ教育や諸外国等の教育を学ぶ機会をいただき、改めて、教育という視点からの「平等」と「公平」の意味について、自分なりに考えることとなりました。よく、「公平」「平等」の違いを理解する絵として、右の野球観戦をする親子三人の絵が利用されます。

言葉の意味は、ネット上にも様々な観点や視点から、沢山説明をされています。SDGsの考えでは、「平等」は「差別撤廃等、環境や状況に対する言葉」、「公平」は「平和等、人の考えや行動・行為等に対する言葉」と明記されています。どちらも共通する要素としては、『誰一人取り残さない社会の実現』を目指していると示しています。それぞれ言葉の意味や使い方に違いはあるにしても、教育に置き換えた際、現在のの状況やこれからといった視点で、様々な気づきがあるように思いました。



平等 と 公平

本来、一人一人、個性があり、違いがあります。ものの見方・考え方にも違いがあり、得意なものもあれば、当然、不得意もあります。物事理解や表現の仕方においても、その違いは大いにあります。私たちは、教育のプロフェッショナルとして、一人一人の特性を理解した上で、個々に応じた適切な手立てや支援を施すことが求められています。一方で、全体指導や画一的な指導法等、一方的に教えられる指導の中で、適応できなかつたり、困り感や苦しさを感じているお子さんがいるのも現実です。必要とする支援を行いながらも、自己選択と自己決定ができる環境やいつでも、誰でも、自分の将来を切り拓くチャンスがあることが、本来の『公正であり平等な社会』教育であると思います。

第55回忠類中学校文化祭



9月30日(土)に第55回忠類中学校文化祭が開催されました。今年度は、実に4年ぶりとなる全校一斉実施が実現致しました。

昨年度までの学年別開催ではなく、開会式を始め、最初から最後まで、全学年の発表をご覧いただくことができ、大変嬉しく思っているところです。

各学年とも限られた演目時間の中で、子どもたち自身が思考をめぐらせ、創意工夫を加えながら、演劇やダンス発表、クイズ等、様々な発表が行われました。



感孚風動

心を一つに最後まで

「『感孚風動』～心を一つに最後まで～」をテーマに学年・全校が一つとなり、ご来場いただいた皆様に感動や楽しさを提供できるように練習を重ねてきました。3年生は、演劇を披露し、力のある発表を披露。2年生は、コントや演劇・ショートムービー作成等、工夫を凝らした内容でした。そして、中学校初めての文化祭を体験した1年生は、製品発表やクイズ等といった新しい発想で会場を楽しませてくれました。どの学年も見応えがあり、変化に富んだ発表でした。

そして、最後に、『全校合唱』。4年ぶりとなる全校合唱は、とても迫力があり、歌声が綺麗で、素敵なハーモニーを会場に響かせていました。曲は2つ披露。「明日を信じて」と「君と歩こう」です。等身大の中学生の思いを歌詞にした、とても素敵な歌です。練習段階から、パートリーダーを中心としながら、音楽の先生のアドバイス・指導を仰ぎながら練習を重ね、会場の皆さんに自分たちの思いを伝えることができました。

お忙しい中、ご来場いただきました保護者、地域の皆様方に感謝申し上げます。有難うございました。

1年学年発表：製品発表会・〇×クイズ・ダンス



1年生11名にとって中学校初めての文化祭。自分たちで考えた構成3本立て。①この日のためにみんなで作った木工作品をトークで紹介。②忠類にまつわる〇×クイズで会場を盛り上げたら ③最後は一生涯懸命練習したダンスを披露！ダンスは女子が「Eleven」男子が「Dear my LOVER」最後はみんなで「ジャンボリー・ミッキー」先生と会場を巻き込んで盛り上がりました。

2年学年発表：「2年生の番だヨ！全員集合！」



2年生はやりたいことをたくさん詰め込んで1つの番組を作り上げました。

オープニングダンスで始まり、個性が際立つコメディ劇・動画を使ったスゴ技への挑戦・先生方と一緒にコント・オーディション番組のパロディ など次々と展開していきます。ギネスにも挑戦したりCMも作ったり…。すべてを自分たちで作りました。2年生の潜在能力が爆発した発表になりました！

3年学年発表：劇「9月のサンタクロース」・ダンス



3年生にとっては中学校最後の文化祭。ユーモアもありながらホロっと泣ける劇は3年生がそれぞれの個性を大切にしながら取り組んでいることが伝わってきました。

そしてダンスは全4曲。千葉先生&女子で「アドベンチャー」三宅先生&男子で「Break free」吉田先生と校長先生を巻き込んで「よいかい体操」最後は「エビカニクス」を全員で踊って、文化祭は最高潮に盛り上がりました。

忠類の誇り～中学生 ナウマン象を学ぶ



皆さんもご周知の通り、忠類の「ナウマン象の化石発掘」は、日本国内、いや、世界に誇ることができる文化的な遺産です。この忠類地区に博物館があることも、大変、素晴らしいことであり、更には、添田さんが学芸員として、北海道立博物館より本町職員として赴任されたことも財産の一つであると思います。

そのような恵まれた環境の中で、子どもたちが地域の文化財の一つである「ナウマン象」を学ぶことは大きな意味があり、ここ忠類を巣立った後も、誇れるものの一つとして他の地域の皆さんへ、その素晴らしさを伝えること

ができるようになってほしいです。

本校では、1年生が「ふるさとちゅうるいの魅力や課題を学ぶ」ことをテーマに学習を行っており、10月17日（火）に添田学芸員にご来校いただきました。事前学習として、忠類ナウマン象について、発掘された背景や現在の学説等、様々な情報を大変わかりやすく丁寧にご説明いただきました。子どもたちも、新しい知識や情報に驚きの様子でした。

その後、10月24日（火）に実際に発掘現場に足を運び、化石掘りを体験しました。ナウマン象が生きていた12万年前の当時の地層から、ナウマン象の足跡のみならず、他の動物の足跡や昆虫の羽などが多数発見され、植物や昆虫の化石等、何人かの生徒が発見することができました。

今後は、当時の地層から拾った石を博物館入り口に展示している「ナウマン象モザイクアート」に貼り付けます。忠類を訪れた人を歓迎する展示物として活躍してくれています。ナウマン象の学びは、小学校を中心に行われている「かぼちゃプロジェクト」とのつながりのある学習となっています。豊かな教育資源や人材に囲まれている忠類は大変、素晴らしい所です。



防災学習『避難訓練&体験』

10月24日（火）に幕別町消防署（忠類支署）の皆様にご多大なご尽力をいただき、防災学習「避難訓練&体験」が行われました。

今回、消防署からのご提案もあり、2コマ続きのプログラム構成で防災学習を行いました。事前にかかなりの準備をされたことが理解できるほど、大変充実した内容でした。

全校生徒が校外で、まずは、火災についての基本的な情報についてお話いただきました。消火の「窒息」「冷却」「除去」の三種類を学び、実際に台所で火災が発生した際の対応を体験を交えながら、確認をしていきました。

その後、煙の中での避難の体験をしました。視界のない中での壁伝いの避難方法など、貴重な経験をしました。そして、消火器の使い方も学び、実際に消火作業を体験。消火器の窒息消火のコツを確認しました。

更に、校内に入り、実際に学校の消火設備を確認しました。職員室にある火災報知器や廊下にある消火器や防火扉など…。普段は意識はしていないもので自分たちが守られていることを再確認できました。体育館に移動した後、火災発生時の通報訓練も行いました。冷静に、場所や連絡先、自分の名前など、緊急先に現在の情報をしっかりと伝える練習をしました。

最後には、本日学んだことの振り返りをしながら、大切なことを再確認したところです。忠類中学校の規模だからできる貴重な体験・プログラムをご提供いただきました消防署の皆さんに、心より感謝申し上げます。

